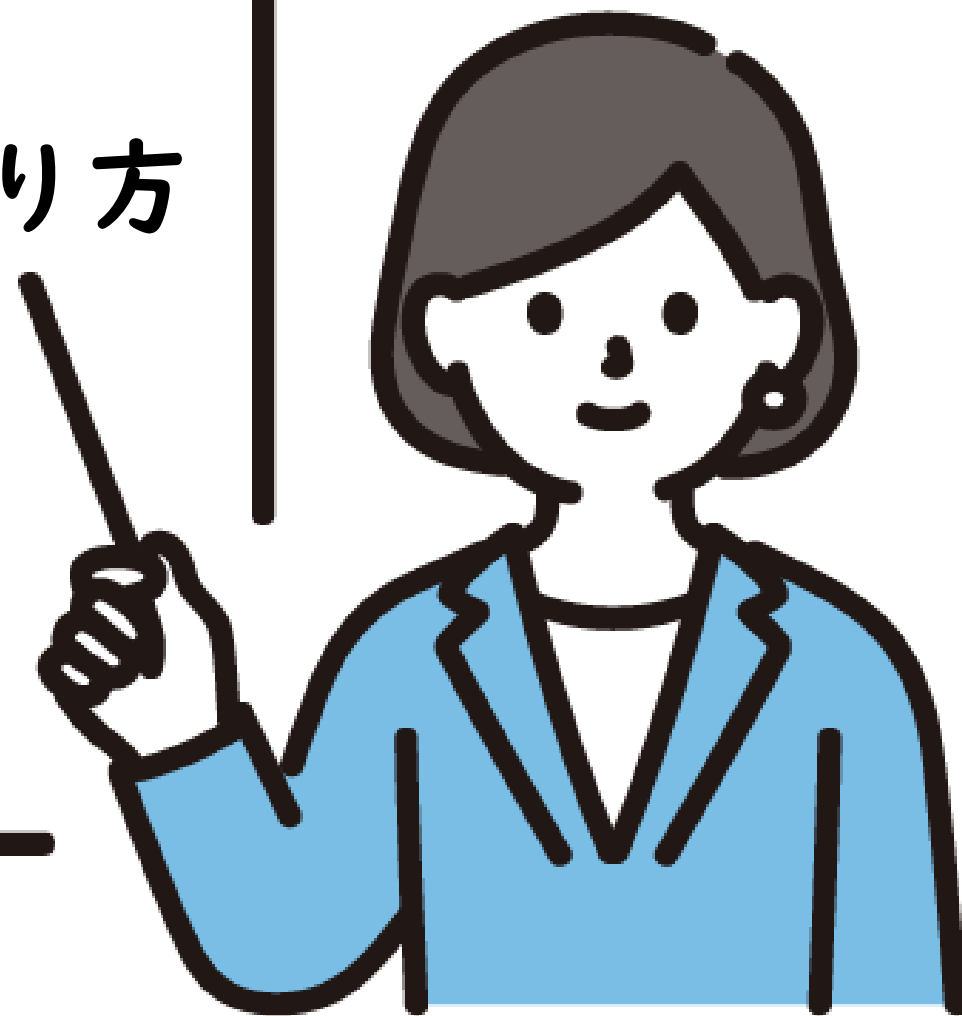


身のまわりの性犯罪を 防ぐための地域防犯活動のあり方

～環境犯罪学の知見を参考に～

国士舘大学 防犯チーム
匂坂侑良、平山夏実
原琴海、加藤朝陽、河田そら
市川周志



目次

1. 活動目的・内容

2. ヒアリング

3. パトロール

4. 提案・まとめ

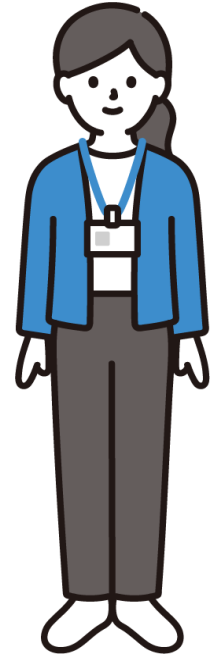
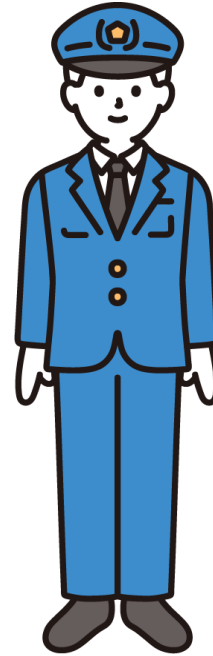
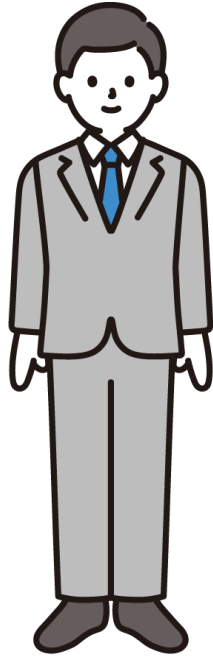
目的

- ・身のまわりの性犯罪を未然に防ぐ
- ・地域の事件の現状を知ってもらう

活動内容

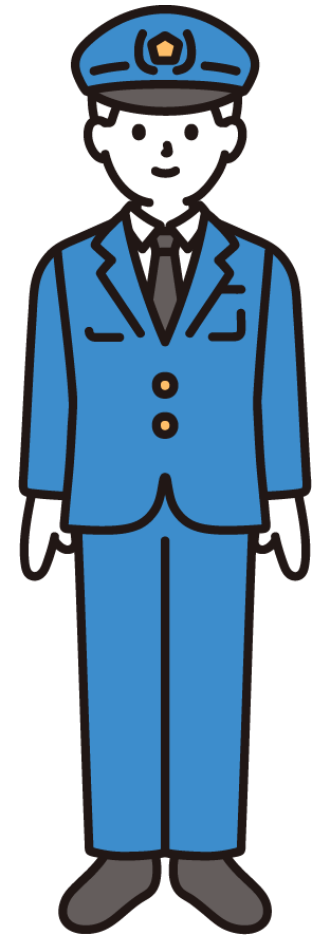
- ・実際に町内をパトロールをする
- ・町内会の方などからお話を聞く

お話を
伺いました



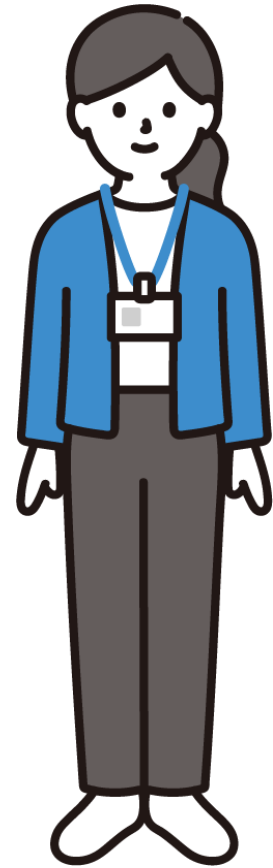
北沢警察署

- ・世田谷区で起きた事件について
 - 痴漢をはじめとする性犯罪
 - 特殊詐欺
- ・デジポリスについて
 - 過去の事件が起きた場所

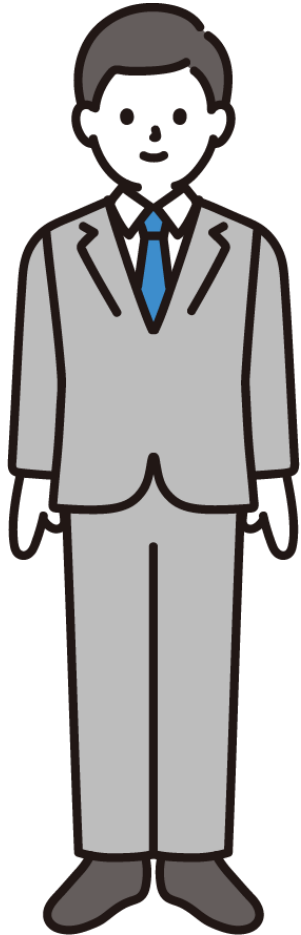


若林町会の方

- ・ 現在行っている活動
 - 町会でのパトロール
 - 若林・三軒茶屋地区
見守り・防犯パトロール
- ・ 起きた事件の共有
 - 集会での情報提供
 - ラインやメールでの情報提供



穴倉先生



環境犯罪学（状況的犯罪予防論）

→犯罪を実行しづらい物理的・心理的環境を作り出すことで犯罪を未然に防止する

- ・人目の少ない場所
- ・空き地や駐車場

環境犯罪学

状況的犯罪予防論

合理的選択理論

成功時予想利益

×

成功予想率



失敗時予想制裁

×

予想比検挙率+コスト



犯罪が実行される

環境犯罪学

状況的犯罪予防論

犯罪による予想利益を減少させることが大切になる

対策：犯行に都合の悪い状況を作り出すことで
犯罪を未然に防止する



環境犯罪学



腕章作成

暗闇で目立つ蛍光色



パトロール実施

自主パトロール
町内会の方々とパトロール
を行いました





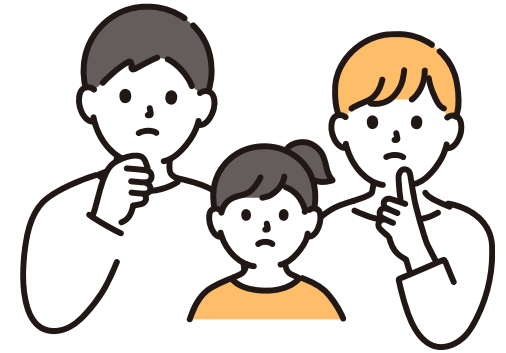


- 監視性が低い
→ 駐車場が多い
→ 死角になる場所
- 照明の数
→ 街灯が少ない
→ 暗い場所が多い



- ・人通り
→朝:通学路
→夜:車通りが多い
- ・領域性が低い
→道路沿いに連れこまれやすい
(車を避けようと
隣の道に入ってしまう)

提案①



防犯パトロールでの提案

- ・ 場所に応じた人数や頻度の見直しを検討する
- ・ 夜間や登下校の時間にパトロールする
- ・ 過去に犯罪が起こった場所を中心にパトロールする
- ・ パトロールをやっているということを目立たせる
(地域の防犯意識の高さのPR)



提案②

町会

- ・地域の方々にアンケートを実施し、不安だと思ふ場所の注意喚起情報を流してもらう
- ・町会から緊急時に逃げ込める場所を通知
- ・コンビニこども110番「セーフティステーション活動」



行政

- ・街灯の増設
- ・防犯カメラやポスターの設置

まとめ

個人でできることには限界がある!!

そのためパトロールを行って
町会の方々と協力することで
より良い地域づくりにつながるのではないのでしょうか

デジポリス



ダウンロード
iOS版



ダウンロード
Android版

